平成27年度病害虫発生予報第10号（1月予報）

＜今月のコラム＞　・菌核病の防除対策について
・冬春期野菜類におけるうどんこ病の防除対策について
・エルニーニョ現象が最盛期を迎えています

＜お知らせ＞　イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/ineyo-phero.html

今月のトピックス

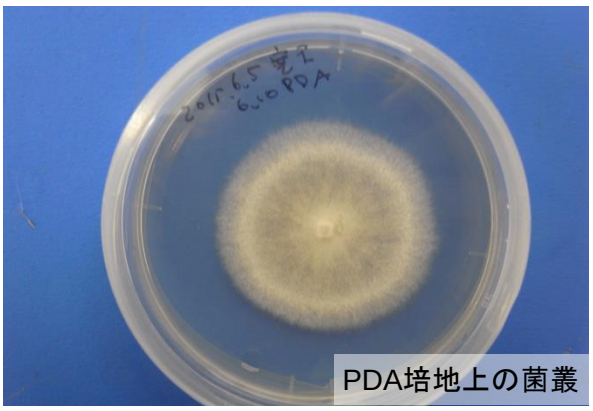
立枯病　（トウガン）

学名：*Fusarium solani* f.sp.*cucurbitae*


被害圃場


罹病株の茎と根(カボチャ台木)


分生子及び分生子柄


PDA培地上の菌叢

生態と被害

糸状菌の一種で、不完全菌類に属する。分生子は2型あり、小型分生子は、無隔壁、無色、楕円形で分生子柄の先端に擬頭状に形成される。大型分生子は、三日月型で0～5隔壁を有し，4隔壁が最も多い。厚壁胞子は円形または楕円形で、分生子や菌糸上に形成される。25℃以上で発病が多い。本菌は、厚壁胞子の形で長期間土壌中に生存し、土壌伝染する。また、果実が感染発病すると種子に菌が付着し種子伝染する。汚染苗や農機具に付着した汚染土壌の移動によっても伝染する。防除対策としては、太陽熱消毒や薬剤による土壌消毒、ウリ科以外作物の輪作などを実施する。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成27年12月24日
沖縄県病害虫防除技術センター